

とちぎMOTプログラム開講！

経営工学(MOT Management of Technology)の大学院レベルの本格的コースがスタート

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)だいぶ過ごしやすい気候になりました。お風邪など召さないように、体調に気をつけてお過ごし下さい。
- (3)この「開倫塾の時間」では、勉強の仕方についていろいろとお話をさせていただいていますが、今日は、大人の方の勉強についてお話をさせていただきます。

2. とちぎMOTプログラム開講 経営する(MOT Management of Technology)の大学院レベルの本格的コースがスタート

- (1)人口が約 200 万人の栃木県は工業、特に製造業が盛んな県ですので、理科系の非常に優秀な方々が 10 万人、20 万人、30 万人もいらっしゃいます。このような状況での栃木県の最大の問題点の一つは、製造業に携わっている非常に優秀な理科系の方々がたくさんいらっしゃるにもかかわらず、社会人になってからは、勉強するチャンスがあまりないことです。
- (2)高校や専門学校、短期大学、大学等を卒業後、仕事に就いてしばらくすると、必ずもう一度勉強する必要が出てきます。1 ~ 2 回の単発で話を聞きに行く機会はたくさんあると思いますが、系統立てて正式な形で勉強するチャンスは今まで栃木県にはなかったと思います。そのことが一つの原因で、栃木県の人材育成に関する魅力が欠けていたのではないかと、企業誘致が上手にいかないのは、また、せっかく来てもらった企業が出ていかれるのは栃木県に社会に出てからの人材育成県としての魅力が欠けているからではないかと、私は常々思っていました。
- (3)このたび、そのような方々にとってよいニュースがあります。

それは、宇都宮大学大学院工学研究科、白鷗大学大学院、作新学院大学大学院の 3 つの大学院が連携し、MOT(マネジメント・オブ・テクノロジー)つまり工学系の大学院レベルの講座が開講することになったことです。10月6日に開講式がありました。栃木県に工学系の経営を専門的に、また大学院レベルで勉強できるところが初めてできましたので、ご紹介させていただきます。

- (4)入学できる方は、4年制大学を卒業した方、高等学校を卒業し4年以上の実務経験のある方、短期大学・高等専門学校・専修学校を卒業し2年以上の実務経験を有する方で、審査員の審査によって資格を認められた方は誰でも参加することができます。
- (5)講義は、宇都宮大学陽東キャンパス、工学部の一番大きなホールで毎週水曜日の午後7時～8時30分の90分間で行われます。定員は20～25名でしたが、参加された方は38名のほり、全員が審査を経て受講が認められました。そして、来年の3月末まで計20回の勉強をすることになりました。
- (6)勉強する内容は、経営戦略論、ファイナンス論(お金の流れのマネジメントを勉強する)、リスクマネジメント論(企業経営で直面する危機的な状況に対処する方法論の勉強、企業倫理、人事労務、知財、事業継続の策定などの勉強をする)、マーケティング論(市場ニーズに対応する製品開発や市場開拓の事業戦略の立案を理論と実践から勉強する)、経営技術基礎論(現代の企業経営に必要なIT〔情報技術〕の戦略の基本、環境配慮に関する基礎的な技術内容を理論とケーススタディから勉強する)です。
- (7)これは、栃木県経営者協会や栃木県経済同友会、栃木県商工会議所連合会、銀行、信用金庫など様々な企業の方々が応援する本格的な産学官連携の経営工学講座です。このような講座が開かれたことは、とても素晴らしいことだと私は思います。
- (8)人間の能力は無限大に伸びます。ですから、社長さんや経営幹部の方々、社会で働いている方々は無限大に能力を伸ばしていただきたいと思います。しかし、今は時代が不安定ですので、特に社長さんや経営幹部の方、マネジメントする方々が相当勉強していなければならないと思います。
- (9)もし、円高が進んで70円台に突入するようなことがあると、栃木県のように輸出を主とする製造業の場合は、日本国内で製造することが難しくなってしまいます。そのような場合にどうすべきかについては、経営トップの方や経営幹部の方々がものすごく頭を使う必要があります。また、働いている方々は会社を盛り上げていかなければなりません。ですから、私は以前から、経営幹部の方やマネジメントをしている方ほど勉強することが大事であると思っていました。

3. おわりに

- (1)今回、宇都宮大学大学院、白鷗大学大学院、作新学院大学大学院の連携により、栃木県ではじめての産学官連携の大学院レベルの経営工学講座が始まりましたので、御紹介させていただきました。今年に引き続いて来年の4月にも開講し、おそらく2～3年以内には正式な大学院の形で発足することになるのではないかと、コーディネーターの1人として私も非常に期待しております。
- (2)この放送をお聴きの皆様も、ぜひ関心を持っていただき参加していただきたいと思います。